会　議　録

会議の名称	令和８年度第１回戸田市公民館運営審議会
開催日時	令和８年７月２８日（火） 午後１時５５分～午後３時４５分
会　場	戸田市役所５階　５０１会議室
参加者	舟山好彦委員長、田中治夫副委員長、小泉仁委員、藤本祥委員、 林てる子委員、佐藤孝委員、生天目央子委員、上原和代委員
傍　聴	０名
欠席者	松永由美子委員、石田美枝委員、伊藤寛幸委員、安藤亮委員
事務局	生涯学習課長、生涯学習課課長、生涯学習課主幹、 新曽公民館長、美笹公民館長、下戸田公民館長、新曽公民館主任
議　題	・令和７年度第２回戸田市公民館運営審議会の振り返り ・報告事項（１）令和７年度公民館事業報告について （２）令和８年度公民館事業計画について （３）第５０回戸田市公民館まつりについて （４）令和８年度子ども大学とだについて ・議事　（意見交換）令和９年度公民館講座の内容等について ・その他
会議の経過	以下のとおり
会議資料	別添のとおり
会議録確定	令和８年１０月１日　委員長　舟山　好彦

（会議発言の経過）

発　言　者	議題・発言内容・決定事項（要旨）
	新任委員に委嘱状交付　生涯学習課課長より交付。
事務局	開会。本日の会議は、戸田市公民館条例施行規則により過半数の委員が出席のため、会議は成立することを報告。欠席者の報告。資料の確認。資料参考資料１から３に基づき、当審議会の設置規定・組織について確認。
委員長	委員長あいさつ
各委員	委員自己紹介
事務局	事務局自己紹介
事務局	次第に従い、案件に移る。進行は、戸田市公民館条例施行規則第７条により、委員長が務めることが定められているため、委員長にお願いしたい。
委員長	それでは、事務局からの指名により案件の進行を行う。 次第４　令和７年度第２回戸田市公民館運営審議会の振り返りについて、事務局より報告願いたい。
事務局	資料１に基づき、前回の審議会で委員からの主な意見４点に対する事務局の対応と改善策について説明。
委員長	それでは、質疑に移る。質疑のある委員は挙手願いたい。 質疑なし。 質疑がないようなので、以上で案件を終了する。 続いて、次第５　報告事項（１）令和７年度公民館事業報告について、事務局より報告願いたい。
事務局	資料２－１から２－５に基づき、各公民館長より事業実績を報告する。 下戸田公民館、美笹公民館、新曽公民館の順に、各公民館講座について報告。戸田市民大学人生１００年応援コース、館外学習については美笹公民館より報告。

委員長	それでは、質疑に移る。質疑のある委員は挙手願いたい。
委員長	人生１００年応援コース館外学習についての費用は無料なのか。
事務局	大型バスは公民館で委託しているため往復のバス代はかからないが、昼食代のほか、博物館などの入館料がかかる場合は費用が発生する。
委員長	他に質疑がないようなので、以上で報告事項（１）を終了する。 続いて、報告事項（２）令和８年度公民館事業計画について、事務局より報告願いたい。
事務局	事業計画説明に先立ち、スクリーン投影の「戸田市生涯学習推進ビジョン（概要版)」に基づき、新曽公民館から戸田市生涯学習推進ビジョンについて説明。 引き続き、資料３－１から３－３に基づき、各公民館長より事業計画を報告する。 下戸田公民館、美笹公民館、新曽公民館の順に、各公民館講座について報告。
委員長	それでは、質疑に移る。質疑のある委員は挙手願いたい。
委員	事業計画の資料に３館とも戸田市民大学講座と明記されているが、令和７年度までは市民大学講座の位置づけではなかったのか、令和８年度になってから位置づけられたのか。
事務局	令和７年度についても市民大学講座に位置づけられているものはあった。令和７年度事業説明資料には記載していなかったが、令和８年度分から記載するようにした。
委員	市民大学講座という文言は市民の目に触れるのか。
事務局	会議資料がホームページに公開されるので、市民の目に触れる。
委員	市民の目に触れることはよいことと感じた。
委員長	美笹公民館については空調の故障ということで大変かと思うが、講座が

	滞りなく実施できるようお願いする。 他に質疑がないようなので、以上で報告事項（２）を終了する。 続いて、報告事項（３）第５０回戸田市公民館まつりの開催について、事務局より報告願いたい。
事務局	資料４に基づき、美笹公民館長より報告する。
委員長	それでは、質疑に移る。質疑のある委員は挙手願いたい。
委員長	参加人数を増やすということだが、周知方法についていくつか説明があったが他に何かあるか。
事務局	ホームページ、広報、公民館だよりに掲載、ポスターを町会掲示板に掲出、チラシを公共機関などに配布。市のＳＮＳでも積極的に発信している。
委員長	今年度は第５０回という節目のため、集客についても是非がんばっていただきたい。
委員	公民館まつりの集客は大変なことと思うが、市からの補助金が少ないのではないか。１館あたりどのくらいか。
事務局	各公民館１０万円に、各サークル数に応じた額をプラスした額となっている。
委員	物価も高くなり、１館あたり１０万円程度では少ないのではないか。 どこに要望するのかわからないが、何をするにしてもお金はかかると思う。少ないと感じた、もし上げられるようであれば集客にも役立つのではないかと思い聞いてみた。
委員長	他に質疑がないようなので、以上で報告事項（３）を終了する。 続いて、報告事項（４）令和８年度子ども大学とだについて、事務局より報告願いたい。
事務局	資料５に基づき、新曽公民館長より報告する。
委員長	それでは、質疑に移る。質疑のある委員は挙手願いたい。

委員	子ども大学とだは、いくつかのテーマを集めることで素晴らしい事業になっていると思う。４年生からということだが、４年生のときに参加し、その後５年生６年生になっても参加すると最大３回ということになるが、継続参加が多いのか、新規参加が多いのか分かる範囲で聞いてみたい。
事務局	４年生で参加し、面白かったので再度参加したい子もいるし、初めての子もいるが、割合は把握できていない。 なお今回は初めての児童を優先することとして抽選している。
副委員長	費用の保険料２００円は毎回支払うのか。
事務局	保険料は全体で２００円。ただし記載していないが、学食体験は自己負担となっている。アレルギーのある児童については事前に調査し対応に気をつけている。
副委員長	バス代などは上がっているのではないか。燃料代、人件費などによりこれまでの１．５倍くらいのこともあるが、費用面の対応は大丈夫か。
事務局	現状、大型バス１台ということで予算内に収まっている。 予算要求時期のため、しっかり予算確保していきたい。
副委員長	バス代などは見込みで予算を取ると思うが、現状では不安要素が大きく、値段は上がる一方であり、ぜひ値上げ分も反映させてほしい。
事務局	十分配慮していきたい。
委員	自身も観光関連会社で担当しているが、バス代は上がっている。バス事故などにより、値段を下げての運用も難しくなっている。
委員長	他に質疑がないようなので、以上で報告事項（４）を終了する。 続いて、次第６　議事（意見交換）令和９年度公民館講座の内容等について、事務局より説明願いたい。
事務局	資料６―１から６－２に基づき、新曽公民館長より説明。
委員長	それでは、（意見交換）令和９年度公民館講座の内容等について、委員

	一人ずつ意見をお願いしたい。
委員	生涯学習推進ビジョンは非常によいと思いながら聞いていた。 最終的に参加者が講師になって戻ってきてもらう講座があって、よいと思った。令和９年度の課題である広く若い世代の利用という点で、若年層を惹きつける講座があればすぐに来てもらえるのかもしれないが、すぐに講座を作って来てもらうというのは難しいと思う。５年後１０年後を考えると、小中学校に出向き、公民館で実施している講座を紹介し、児童生徒の認識を変えていくことが大事ではないか。 いい講座があれば自分も参加してみたいと思うが夜間や土日の講座を増やすのは難しいのかとも思った。
委員	イベントがあるときに利用はしていたが、公民館がこれだけいろいろな活動をしているというのは、生活していて知らなかった。 講座については町会でも実施するが、同じメンバーになりやすい、中町会は老人会が活発で、同じメンバーが集まってはくれるが、子どもたちの参加は少ない状態。 時々、小中学生が盆踊りなどを手伝ってくれる際に聞いてみると、町会会館は行きにくい場所との認識のようだった。本来であれば身近でいつでも顔を出していい場所ではあるはずだが、子どもたちからは町会会館は、大人の集まる場所、行きにくい場所と思われているようで、公民館も同様なのではないか。 気軽に集まって、つながれる場所として利用できればと思う。自分たちの世代も集まる場所がないのも事実であり、公民館で講座があるから行くというよりは気軽に行けるかたち、自由に貸していただいて、市民がイベントをして人を集める、集客力は持っている人たちなので、もう少しゆるいかたちで、利用ができればよいと思う。
委員	公民館でこのような事業を実施していることを初めて知った。 先日集まったときも高齢者ばかりで、若い方がいないという話をした。小さい子が集まれるような講座があればと思う。 家族から聞いた話として、都内の公立小学校の学童で、ネイティブの方をボランティアのような形で入ってもらったところ、家でも英語を話したりするようになった。 授業で教えるより、母親と遊びながら英語を学べるような講座があればよいと思った。

委員	公民館まつりの集客のため、たとえば子ども中心に金魚すくいなどして、小さい子どもが来れば、母親も来るので、それで人が集まればよいかなと思う。 そういった意味でも予算がもう少し取れないのかと思った。
委員	目的に沿って、企画し、計画を作っても、集客につながらないこともある。いきなり中学生や２０代３０代に来てもらおうとしても難しいことは、この仕事をしていて思っている。 小学生のうちからボランティアを経験していると、子どもたちが中学生になってからも継続したりするのでよいと思う。 男性向け料理教室が２～３年目になるが、普段３０代４０代男性はほぼ来ないが、チラシなどに基礎から学べると書いておくと、ふだん来ない男性が妻から勧められて参加したりするので、周囲の人の目にふれるような周知があると効果的と思う。
委員	令和７年度から令和８年度にかけて講座がバージョンアップされている。事業計画の表にこれまで記載されていた「テーマ」という項目が「講座のねらい・学習者にとっての到達目標」となっていることや「講座分類」の記載などからも目的を意識した指針作りがされており、公民館・生涯学習課の意気込みが感じられた。 自然体験が１つしかなく、子どもたちにとって身近なものであり増やしてほしい、たとえば押し花や野菜の収穫体験など。小学校勤務のとき、授業の中で田植えというものがあったが、田んぼがないということで、学校内の畑で指導していたこともあり、野菜の収穫体験などもあればよいと思った。 公民館の目的をあらためて読んでみたが、学術及び文化に関する各種事業を行い、情操の純化とある。小学校勤務だったころ、北浦和の県立美術館から指導者を呼び、芸術作品を鑑賞した。戸田市には美術館がないため、そのような講座もあるといいかと思った。 高齢化で車イス利用者も増えている、車イス利用体験や点字ブロック・点字など福祉体験の講座などもあればよいと思う。
副委員長	２年目となるが、当初は公民館の事業はあまりわからなかった。あいパルのすぐそばなので、あいパルでいろいろ事業実施しているのは知っており、戸田はイベントの多い活気のある街だと思っている。 公民館のそばには食堂がないので、キッチンカーを呼んでもらえれば集客につながるのではないかと思っている。

委員長	各公民館が公民館運営審議会での要望・意見を取り入れてもらい、３館の連携も図れているようであり、よいと思う。 若年層の参加を促すのはどこも難しいと思う。平日夜の講座はなかなか足が向かないと思うが、そうなると土日に魅力ある講座があればよいと思う。さらに工夫を重ねてもらい、集客につなげてほしい。 地域の育成サークルや地域人材を講師に招くことは進めてもらっているようなので、今後も継続してほしい。
委員長	以上で６議事（意見交換）令和９年度公民館講座の内容等を終了する。 続いて、次第７　その他について、事務局より、何かあれば報告願いたい。
事務局	次回の審議会の開催時期は、令和９年２月頃を考えている。日程は開催通知等によりお知らせする。
委員長	以上をもって案件はすべて終了した。審議が滞りなく進行できたことに心から感謝申し上げる。進行を事務局に戻す。
事務局	令和８年度第１回戸田市公民館運営審議会を閉会とする。 閉会